

令和5年8月3日 佐藤

～ 大規模水害に備える。段ボールジオラマづくりを通して、みんなで考える地域防災 ～ 江東5区エリアの地形を段ボール で再現、防災を考える講座を実施

8月2日（水）14時より、すみだ生涯学習センター（墨田区東向島2-38-7）で、すみだ地域学セミナー『段ボールジオラマ防災授業講座 江東5区ってどんな場所？地形から地域の防災を考えよう』が開催されました。

これは、荒川下流域に位置する江東5区エリア（墨田区・江東区・葛飾区・足立区・江戸川区）について、段ボールを使って縮尺12,500分の1のジオラマを組み立て、同エリアの地形を学び、どんな防災対策が役立つか、何ができるかを考えるワークショップ形式の講座です。すみだ生涯学習センターと（一社）防災ジオラマ推進ネットワークが主催で実施し、「関東大震災100年関連事業」として、今年のすみだ地域学セミナーにおける特別企画として実施しました。

会場には、子どもから大人まで18名の参加者が集まり、江東5区エリアを細分化して、グループに分かれて段ボールジオラマを組み立てました。参加した区民は「完成したジオラマで『海拔0メートル』という言葉の意味がはっきり分かった。今までは他人事だった部分もあるが、水害の備えをもっと真剣に考えないといけないと改めて思った。」と、地域防災の重要性を学んでいました。

完成したジオラマは区に寄贈され、9月10日（日）まで、すみだ生涯学習センターの3階交流ラウンジにおいて展示し、一般の来場者にも公開します。区長も会場を視察に訪れ、「大変緻密で立派なジオラマを寄贈していただいた。このジオラマを区としてもしっかりと活用させていただき、区民とともに防災について改めて考えるきっかけとしたい。」と話しました。

なお、この講座以外にも、今年のすみだ地域学セミナーは7月から8月にかけて、関東大震災100年に関連するさまざまな講座を実施しています。

《写真》 ワークショップの様子



ジオラマの贈呈式の様子



完成したジオラマ



《概要》2023年度すみだ地域学セミナー（前期）『Rethink PROJECT × 段ボールジオラマ防災授業 江東5区ってどんな場所？地形から地域の防災を考えよう』

日時：令和5年8月2日（水） 14時00分～15時30分

会場：すみだ生涯学習センター 展示ギャラリー（墨田区東向島2-38-7）

参加：18名（事前申込）

主催：（一社）防災ジオラマ推進ネットワーク、すみだ生涯学習センター 協賛：Rethink PROJECT

その他講座詳細：<https://www.yutoriya.jp/event-news/detail/5554/>（すみだ生涯学習センターHP）

《問合せ》すみだ生涯学習センター（段ボールジオラマ防災授業講座）

03-5247-2010

地域力支援部 地域活動推進課（すみだ地域学セミナー全般）

03-5608-6202

都市計画部危機管理担当 防災課（区の防災対策など）

03-5608-6206

お問合せは、午後5時までにお願いたします。（広報広聴担当 03-5608-6220）